

地域ささえあい通信

第7号 (発行)2024年9月 富士宮市社会福祉協議会 地域ささえあい係

令和6年度 第1回地区社協連絡会 報告

令和6年9月8日(日)に開催し、社協役員及び、推進委員、一般市民の計94の方にご参加いただきました。

目 的:地域福祉活動に対する理解を深めること

地区社協とは:市内に14か所設置

住民が主体となり、住民が抱える問題を住民同士で協力し解決を目指す地域福祉を推進する団体です。

今回のテーマ:「地区社協ってなあに?～地区社協の未来を考えよう～」

講 師:柚野地区社会福祉協議会

会長 望月利英様,副会長 小島勝様,企画委員長 遠藤克実様

内 容:トークセッション

「みんながちょっとずつ関わる福祉」「将来のために今できること」

「みんなに知ってもらいたい」「楽しい雰囲気づくり」

以上4点を中心に熱い思いを展開。

伝えたいこと:★この先を見据えて若者を積極的に巻き込む視点を!

★福祉は「大きなお世話とならない小さなおせっかい」の積み重ね。これが持続可能な取組みに繋がっていく!

★活動は楽しみたい!何でも話せる楽しい雰囲気作りを!

★地域の中に他団体との関わりを持つこと

<まとめ>

「大切なことは、一人ひとりが無理せず楽しみながら、ちょっとずつ福祉に関わる・考える機会を持つこと。福祉は特別なものじゃないという意識を多くの人に感じてもらうこと」と伝えていただきました。



柚野地区社会福祉協議会役員の皆様

広報誌:ゆのちゃんねる



災害ボランティア本部立上げ訓練実施～日常から有事に備えて～

令和 6 年 8 月 5 日、市社協職員を対象に大規模災害を想定した災害ボランティア本部立上げ訓練を行うことにより、課題や不足するものを事前に把握し、円滑に本部運営できることを目的に実施しました。

当日は、能登半島地震被災地支援で派遣された職員より現地の災害ボランティアセンターでの活動報告、災害ボランティア本部と密な連携が必要な市災害対策本部ボランティア班職員より、『市災害対策本部ボランティア班の役割』について説明されました。その後、災害ボランティア本部を準備段階から実際の受け入れの流れの体験訓練を実施。有事の際、職員が誰でも運営を行えるようにするため、これからも訓練を重ねてまいります。



(災害ボランティア本部立上げ訓練の様子)

生活支援体制整備事業 大宮西地区協議体での取り組み 楓の丘による送迎の協力（安居山2区寄り合い処西の里）

現在、市内では7つのエリアに分かれ、介護予防の視点で、高齢者を対象とした地域の支え合いについて話し合いを行っています。

大宮西地区にある「安居山2区寄り合い処西の里」でのお話・・・

参加者さんの困りごと

↓「区民館の近くは、坂がとても急で今後通うのが心配」→でも送迎はやっていない協議体委員に相談

↓「どうしたら通い続けることができるのか」
西部地域包括支援センター

「法人で送迎の協力ができます！」

ニーズと受け皿のマッチングに成功



↓
楓の丘スタッフと SC(生活支援コーディネーター)が希望者宅へ訪問

①身体状況の聴き取り ②安全面の確認

↓
9月の寄り合い処の開催日(第3火曜日)に初めて2名の方が送迎を利用されました。

社会福祉法人湖成会
特別養護老人ホーム
楓の丘様



今後は月1回、継続実施していただく予定です
業務多忙の中、ご協力ありがとうございます！